

# 減量・資源化状況と次年度の対策

## 彦根市一般廃棄物処理基本計画より

### 1. 第5章 減量・資源化目標（実行計画 12P～17P）

#### 目標A：ごみ等排出量を減らす

ごみ等排出量（集団回収量を含む）37,000tにする。  
1人1日あたりの排出量が、900g/人・日を下回る数値にする。

#### 平成27年度進捗管理値に対する進捗状況 **164%**

平成26年度と比較して、ごみ等排出量は減少しており、平成27年度の進捗管理値を達成することができた。

#### 主な要因

##### 1. 燃やすごみが減少している **前年比-9.7%**

- ①事業系一般廃棄物の収集運搬事業者に対する搬入物検査を強化している。
- ②平成27年8月1日からごみ処理手数料を改定した。

種 別			改定前	改定後
事業系	特別収集証紙	1袋10kgまでごとに	240円	300円
	可燃	20kgまでごとに	260円	340円
	粗大	20kgまでごとに	400円	440円
家庭系	可燃	40kgを超える重量 20kgまでごとに	180円	220円

- ③清掃センターへのごみの直接搬入時の身分証明書の確認を、平成27年8月1日より開始。

#### 平成28年度における対策

引き続き清掃センターへ搬入される廃棄物に対する排出元の確認や、検査を実施していく。

#### 目標B：再生利用率を上げる

再生利用率（集団回収量を含めたりサイクル率）を20%にする。

#### 目標に対する進捗状況 **48%**

平成26年度と比較して、再生利用率は上昇しているが、平成27年度の進捗管理値を達成できていない。

#### 主な要因

##### 1. 平成 27 年 4 月から草木・剪定枝の資源化を開始

前年度までは全て焼却をしていた、草木や剪定枝を民間施設で堆肥化している。

平成 27 年度草木剪定枝資源化量 **691 トン**

##### 2. 平成 27 年 4 月から焼却灰の一部資源化を開始

大阪湾広域臨海環境整備センター（フェニックスセンター）へ埋立っていた焼却灰の一部を民間施設にて、路盤材や建築資材へリサイクルしている。

平成 27 年度焼却灰資源化量 **96 トン**

##### 3. 平成 27 年 10 月から使用済蛍光管の分別回収を開始

埋立処分を行っていた使用済蛍光管を分別回収し、リサイクルを開始した。

平成 27 年度使用済蛍光管資源化量 **1 トン**

#### 平成 28 年度における対策

- ①中山投棄場（彦根愛知犬上広域行政組合一般廃棄物最終処分場）の埋立終了に伴い、埋立ごみの最終処分を民間に委託するにあたり、埋立ごみの選別を行う。
- ②市内で店舗回収を実施している、店舗の情報をまとめたリサイクルマップを作成する。

#### 目標 C：最終処分量を減らす

最終処分量を 5, 200 t にする。

#### 平成 27 年度進捗管理値に対する進捗状況

**126%**

平成 26 年度と比較して、最終処分量は減少しており、平成 27 年度の進捗管理値を達成することができた。

#### 主な要因

- ①燃やすごみの減少により、焼却灰の排出量が減少している。
- ②平成 27 年 4 月から焼却灰の一部資源化を開始したことで、埋め立てられる焼却灰の量が減少している。

#### 平成 28 年度における対策

- ①中山投棄場（彦根愛知犬上広域行政組合一般廃棄物最終処分場）の埋立終了に伴い、埋立ごみの最終処分を民間に委託するにあたり、埋立ごみの選別を行う。

## 目標D：焼却量を減らす

焼却量を28,100tにする。

### 平成27年度進捗管理値に対する進捗状況 **206%**

平成26年度と比較して、焼却量は減少しており、平成27年度の進捗管理値を達成することができた。

#### 主な要因

- ①事業系一般廃棄物の収集運搬許可事業者に対する搬入物検査の強化や、平成27年8月1日からごみ処理手数料を改定したことにより、燃やすごみの量が大きく減少している。
- ②平成27年4月から草木・剪定枝の資源化を開始したことにより、燃やすごみの量が減少している。

#### 平成28年度における対策

引き続き清掃センターへ搬入される廃棄物に対する排出元の確認や、検査を実施していく。

## 2. 重点行動のテーマと行動目標 (43P~45P)

### テーマ1 循環社会をめざして ~ごみの発生抑制、再使用を推進しましょう~

目標：平成34年度の市民1人1日あたりのごみ等排出量を900g未満にする

内訳：家庭系：622g（当初578g）、事業系：277g（当初321g）

※家庭系と事業系の割合について、これまでの算出方法に誤りがあったため、改めて算出している。目標数値については、計画にある「家庭系19%削減」、「事業系12%削減」という数値を活かし、それに近い削減割合で算出し直している。

### 平成27年度進捗管理値に対する進捗状況 **178%**（排出量が減少している）

平成26年度と比較して、1人1日あたりのごみ等排出量は減少しており、平成27年度の進捗管理値を達成することができた。

#### 主な要因

- ①燃やすごみの減少。

目標：平成34年度の市民1人1日あたりのごみ排出量を320g未満にする

内訳：家庭系：214g（当初210g）、事業系：109g（当初106g）

※家庭系と事業系の割合について、これまでの算出方法に誤りがあったため、改めて算出している。目標数値については、計画にある「家庭系19%削減」、「事業系12%削減」という数値を活かし、それに近い削減割合で算出し直している。

## 平成 27 年度進捗管理値に対する進捗状況 239%

平成 26 年度と比較して、1 人 1 日あたりの生ごみ排出量は減少しており、平成 27 年度の進捗管理値を達成することができた。

### 主な要因

- ①これまで、生ごみ処理機購入補助や簡易生ごみ処理普及事業を継続して実施してきた他、食品ロスの啓発など生ごみの減量に関する情報発信に力を入れてきた効果があらわれたものと思われる。

大型生ごみ処理機維持管理委託事業効果	⇒	2.6 t	(市内 1 自治会分)
簡易生ごみ処理普及事業による削減効果	⇒	27.8 t	
生ごみ処理機購入補助による削減効果	⇒	62.4 t	
合計		92.8 t	

### ●家庭用生ごみ処理機使用状況

平成 14 年度～平成 24 年度までの補助世帯数	674 世帯	} <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">381 世帯</span>
現在も使用している世帯数 (アンケート回答 422 件)	312 世帯	
平成 25 年度補助世帯数	19 世帯	
平成 26 年度補助世帯数	29 世帯	
平成 27 年度補助世帯数	21 世帯	

### ●生ごみ削減量の算出方法

$$\text{生ごみ削減量} = 1 \text{人}1 \text{日あたりの生ごみ排出量原単位} \times \text{会員世帯数} \\ \times \text{平均世帯人口}(2.4 \text{人}) \times 365 \text{日}$$

※1 人 1 日あたりの生ごみ排出量原単位 187g

(大型生ごみ処理機での削減量については、毎月の投入量を報告いただいている。)

### ※1 人 1 日あたりの生ごみ排出量原単位算出方法

一般廃棄物実態調査 (H26 年度) より

- ・生活系ごみ収集量－生活系粗大ごみ＝26,977,505 トン

注意：粗大ごみは組成調査の項目に含まれていないため除きます。

容器包装廃棄物排出量実態調査(環境省)より

- ・厨芥類の組成は湿重量で 32.4%

上記 2 点より、生活系ごみの内、厨芥類量は

$$26,977,505 \text{トン} \times 32.4\% = 8,740,712 \text{トン}$$

以上から、家庭における 1 人 1 日あたりの生ごみ排出量

$$8,740,712 \text{トン} \div 128,181,493 \text{人 (日本の人口 実態調査より)} \\ \div 365 \text{日} = 187 \text{グラム}$$

## テーマ2 循環社会をめざして ～再生利用を推進しましょう～

目標：平成34年度の古紙の資源回収量を5,000tにする  
集団回収：2,750t、行政回収：1,000t、店舗回収：1,250t

※市内の古紙の賦存量を約6,500tとして設定した目標であり、店舗回収が進むことで資源回収量が減少することを想定している。

平成27年度進捗管理値に対する進捗状況 %

主な要因

データ集計中

## テーマ3 地域力の再生をめざして ～環境コミュニケーションの醸成と意識改革をすすめましょう～

目標：平成34年度の出前講座等の延べ参加者数を3,000人にする

平成27年度進捗管理値に対する進捗状況 176%

平成26年度と比較して、出前講座の延べ参加者数は増加しており、平成27年度の進捗管理値を達成することができた。

主な要因

- ①平成27年度においては、滋賀県立大学の夏祭や学園祭において、ごみの減量や生ごみの堆肥化を啓発するブースを設置し、ごみ減量、資源化の啓発に努めた。
- ②清掃センターだけでなく、生活環境課においてもごみに関する出前講座を開始した。